

東レ・ダウコーニング株式会社  
東京都千代田区丸の内 1-1-3  
AIG ビル 4F 〒100-0005  
TEL:03-3287-8300 (代表)  
FAX:03-3287-8460

2006 年 10 月 4 日

## 「機構部品」と「スイッチの接点」の両方に使用可能 自動車・家電に最適な合成油グリース 10 月 16 日新発売 ～ 不純物や固体潤滑剤を含まず接点の潤滑にも最適 ～

東レ・ダウコーニング株式会社（本社：東京都千代田区／代表取締役社長：伊勢村 美治）は、自動車や家電用プラスチック部品及び金属部品の潤滑や、スイッチの接点の潤滑に最適なモリコート® G-1050 を 10 月 16 日から発売する。

本製品は、プラスチックにほとんど影響を与えない素材のため、金属部品だけでなく、プラスチック部品の潤滑にも最適である。また、機構部品以外に、スイッチの接点部分に利用しても、スイッチの切り替え動作に影響を与えずに潤滑効果を得ることができる。

さらに、合成油をベースとしているため、不純物が少なく、低温から高温（ $-45^{\circ}\text{C}$ ～ $120^{\circ}\text{C}$ ）まで安定した性能を発揮する。

### ■開発の背景

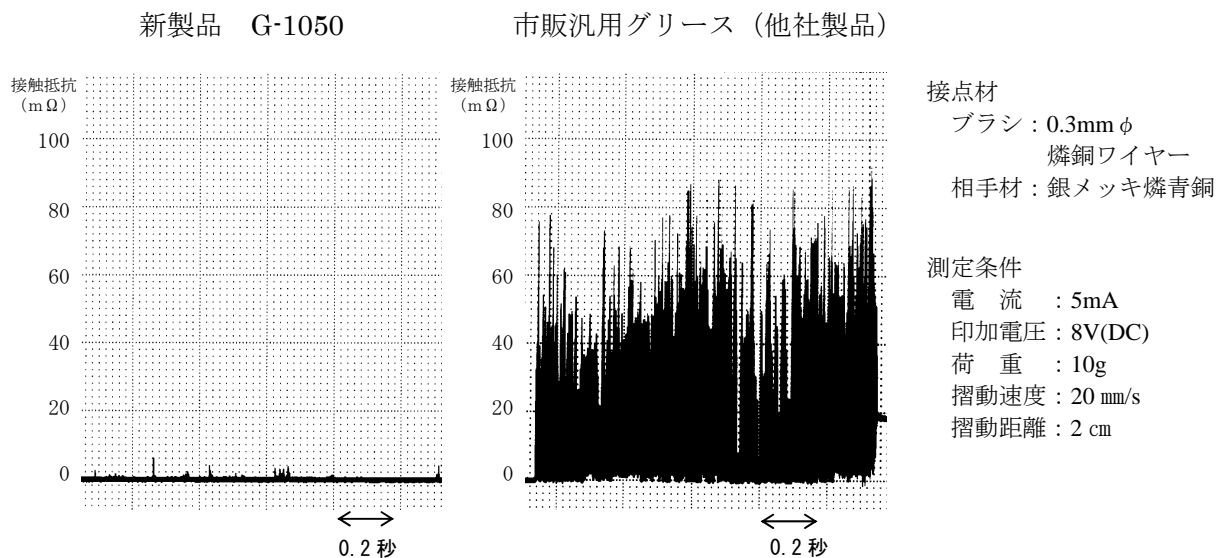
近年の自動車の構造には、コンパクト化が求められており、機構部品と電気部品が近接した設計になることが増えている。このようなレイアウトでは、機構部に用いられる潤滑剤と、スイッチに用いられる潤滑剤が異なる場合、相互の混入を防ぐための設計が困難であり、また混入した場合には潤滑機能の低下も考えられる。そこで、両方の用途に共通して利用可能な本製品を用いることで、異種の潤滑剤の混入を意識せずに部品を配置することが可能となり、設計の自由度が向上する。さらに使用する潤滑剤の種類を減らすことでコスト面でも有利になると考えられる。

### ■製品特長

- ・ 金属・プラスチック部品の両方に使用可能
- ・ スwitchの接点材（主に銅材）への影響を考慮した処方により接点の腐食がない
- ・ 固体潤滑剤などの粒子を含まないため、接点の接触面に悪影響を与えない  
（グラフ 1 に接触抵抗の試験結果を示す）

## ■ グラフ 1: 接点シミュレーターによる接触抵抗測定

【500 サイクル後の接触抵抗】



右の汎用グリースでは、スイッチの切り換えごとに抵抗が発生しており、これが実際の回路ではノイズとして誤動作の原因になることも考えられる。一方、G-1050 を使用した場合にはほとんど変化がなく、接点の潤滑に適していることが分かる。

## ■ 製品画像



## ■東レ・ダウコーニング株式会社について

1966年、高分子化学のパイオニアである東レと、世界のシリコン技術革新をリードするダウコーニング社の合併により事業を開始。2005年4月にはダウコーニングアジア株式会社と事業統合。膨大な研究蓄積を基盤に、最新かつマーケットニーズに即応したシリコンを中心とした機能性素材の開発を行ない、さらに顧客企業のグローバル化に呼応して、ダウコーニングとの協力体制のもと世界各所において製品および関連サービスを供給しています。

現在、ダウコーニングは世界で2万5千を超す顧客企業に対応、7千以上の製品およびサービスを提供する、ケイ素関連技術とその革新のグローバル・リーダーです。ダウコーニングは、年間売上の半分以上を米国以外の市場から得ております。

本件に関するお問い合わせ先

### ●報道関係の方からのお問い合わせ

東レ・ダウコーニング株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目1番3号 AIG ビル

Web : [www.dowcorning.co.jp](http://www.dowcorning.co.jp)

広報担当：岡本美津子 TEL : 03-3287-8541 / FAX : 03-3287-8311

E-mail : [mitsuko.okamoto@dowcorning.com](mailto:mitsuko.okamoto@dowcorning.com)

または

モリコート営業部門 マーケティング・マネージャー

坂巻満弘 TEL: 03-3287-8573 / FAX: 03-3287-8460

### ●読者からの製品に関するお問い合わせ

テクニカルインフォメーションセンター Tel. 0120-77-6278